

編集後記

会の結成から3年がたち、『満洲の記憶』も第3号を刊行することができました。関係者の方々のご協力がなければ、会の活動をここまで進めることはできませんでした。心より感謝申し上げます。

本号では、『石崎操日記』や「故立岡皓男氏所蔵資料目録」を掲載しています。これらは石崎操氏や立岡皓男氏がその貴重な経験を経て残してきた手記・資料であり、個々の思いや足跡が刻みこまれています。これらの史資料は、当時の状況を把握するだけでなく、それぞれのライフヒストリーを知る上でも重要です。ご家族によって長年保管されてきたこれらの史資料を皆様に紹介し、その価値を共有したいと思います。また、本研究会では引揚団体や残留婦人の現在の活動や語りにも着目し、参加記と調査記を掲載しました。彼、彼女らの思いや揺れ動く様子にもご注目いただければ幸いです。

本研究会はこれまで満洲に関わる人々の記憶に注目してきましたが、引揚者の方々から話を伺うにつれて、満洲という地域に限定されない人的・物的移動があったことが明らかとなり、それは本研究会に他の地域の史料が集まってきたことも大きく関係しています。朝鮮や台湾など他の地域もあわせて考察するのを感じました。今後は地域を限定せずに、より幅広い視野でもって調査・研究を進めていく予定です。次号も是非、ご期待ください。(湯川)

『満洲の記憶』 第3号

発行日：2016年10月31日

編集：「満洲の記憶」研究会編集委員会
編集委員：

飯倉江里衣 尹国花
大野絢也 菅野智博
佐藤仁史 佐藤量
新谷千布美 施昱丞
瀬尾光平 森 巧
湯川真樹江 林志宏

発行：「満洲の記憶」研究会

〒186-8601 東京都国立市中2-1

一橋大学大学院社会学研究科

佐藤仁史研究室 気付

Tel・Fax：0420-580-8885

◇本誌は年刊オンラインジャーナルで、毎年9月に刊行されます。本会学年暦は、毎年8月1日から次年7月31日です。

◇本誌は一橋大学機関リポジトリにおいて配付しています。

<http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/handle/10086/27095>

◇「満洲の記憶」研究会連絡先

- ・メール：manshu-kioku@live.jp
- ・電話：080-6563-3766（菅野智博）
- ・<http://manshunokioku.blog.fc2.com/>
（研究会ブログ）

ISSN 2189-390X